

資料

資料1 令和3年度高知県地域学校協働活動推進委員会及び研修会等実績報告・・・P. 1～P. 8

資料2 関係各課 令和3年度事業報告

学校安全対策課・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・別添資料

小中学校課・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P. 9～P. 11

保健体育課・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P. 12～P. 13

資料3 令和3年度市町村事業実施一覧・・・・・・・・・・・・・・・・P. 14

資料4 令和4年度高知県地域学校協働活動推進委員会及び研修会等の年間事業計画・P. 15 ～P. 17

資料5 令和4年度市町村事業実施予定一覧・・・・・・・・・・・・・・・・P. 18

資料6 NPO法人高知県生涯学習支援センター事業報告・・・・・・・・P. 19～P. 23

令和3年度高知県地域学校協働活動推進委員会及び研修会等実績報告（概要）

1 推進委員会の実施

■第1回

【開催日】令和3年11月10日（水）

【内 容】令和2年度実績報告、令和3年度中間報告等

■第2回

【開催日】令和4年2月4日（金）

【内 容】令和3年度事業報告（実績見込）、令和4年度事業計画等

2 研修会等

(1) 全体研修会、ブロック別研修会及び地域コーディネーター研修会

■高知県地域学校協働活動研修会（全体研修会）

【開催日】令和3年11月16日（火）

【会 場】いの町総合保健福祉センター 大会議室

【内 容】参加者97名、満足度79%

[基調講演]

演題 「地域学校協働本部とコミュニティ・スクールの一体的な推進について」

講師 熊谷 慎之輔 教授（岡山大学大学院教育学研究科）

[実践発表]

小川 真悟 氏（高知市立春野中学校長・春野中学校地域学校協働本部）

[グループによる情報交換]

■高知県地域学校協働活動ブロック別研修会

【開催日及び会場】

東部会場：令和4年2月8日（火）安田町文化センター ※コロナ禍のため中止

中部会場：令和3年11月30日（火）いの町立伊野小学校
（参加者67名、満足度100%）

西部会場：令和4年2月22日（火）黒潮町役場本庁（予定）

高知市会場：令和4年1月25日（火）高知市たかじょう庁舎 ※オンライン開催
（参加者45名）

■高知県地域コーディネーター研修会（全3回）

[講演] 演題「コーディネーターに今できること」

講師 竹原 和泉 代表（NPO法人まちと学校のみらい）

[グループによるワークショップ]

第1回：令和3年10月18日（月）いの町総合保健福祉センター
（参加者63名、満足度85%）第2回：令和3年10月19日（火）黒潮町役場本庁
（参加者31名、満足度84%）第3回：令和3年10月21日（木）安田町文化センター
（参加者41名、満足度86%）

事業名	成果	課題と今後の方向性
地域学校協働本部事業	<ul style="list-style-type: none"> ・地域学校協働本部設置率 95.7% ・コロナ禍でも、工夫しながら協働活動を計画的に実施する学校が見られた。 ・高知県版地域学校協働本部の各市町村設置計画以上の86.2%で取組実施。厳しい環境にある子どもたちの地域による見守りの効果を実感している学校が増加した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村や学校によって活動内容に差がある。今後は、活動の目的や必要性、取組を通して育てたい子どもの姿を明確にした事例集を作成することで、他本部の活動事例を自本部での実践に結びつけられるように支援する。 ・地域コーディネーターの確保・育成。地域コーディネーターの課題意識に沿

	<p>・コロナ禍における見守り活動や学習支援が、不安を抱える子どもたちの心の安定につながった。また、民生委員・児童委員と家庭がつながることで、学校との情報共有がより進んだ。</p> <p>・地域学校協働活動研修会(ブロック別)や地域コーディネーター研修会等の継続的实施により協働活動の意義や取組についての理解が深まっている。</p>	<p>った研修内容を検討し、コーディネーターの横のつながりの強化を図りながら地域との連携・協働体制の推進に活かしていく。</p> <p>・コロナ禍における活動の工夫や働き方改革を踏まえた活動内容を周知することで協働活動の充実を図る。</p>
--	--	--

■高知県社会教育実践交流会

【開催日】令和4年1月23日(日)

【会場】土佐市複合文化施設つな一で(ブルーホール)他

【内容】

◆記念講演 「感動と感謝の地域創生 -一度っきりの人生だから社会に貢献-」
講師 鹿児島県鹿屋市柳谷集落自治公民館長 豊重 哲郎 氏

◆インタビュー・ダイアログ

登壇者 鹿児島県鹿屋市柳谷集落自治公民館長 豊重 哲郎 氏

インタビュアー Y. G. Kヤングジェネレーション高知 林田 翔平 氏

高知県連合婦人会 会長 山下 福恵 氏

高知県小中学校PTA連合会 会長 仲村 貴介 氏

土佐清水市立中央公民館長 岩井 拓史 氏

◆実践発表

発表① 「出張サンタの魅力と可能性 ～お出かけ出張サンタ in あさひ～」

Y. G. Kヤングジェネレーション高知 林田 翔平 氏 西込 陽星 氏

発表② 「高知家の地域課題には社会教育(?!)

～地域おこし協力隊の定住率向上&であいのきっかけ応援プロジェクト～」

高知家子ノモノ・ヨソモノ相談室(青年団OB・OG) 森岡 千晴 氏

発表③ 「総合型地域スポーツクラブと地域コミュニティ」

特定非営利活動法人まほろばクラブ南国 理事長 武市 光徳 氏

発表④ 「特別な「誰か」「何か」に頼らないまちの活性化」

民宿 徳増 徳増 千里 氏

発表⑤ 「“コロナ禍で孤立する親子”の居場所づくり」

特定非営利活動法人GIFT 事務局長 眞鍋 大輔 氏

発表⑥ 「私が伝えたいよさこいの意義と学生チームの魅力

～コロナ禍の事例をもとに～」

高知学生旅鯨人24代目代表 小熊 壮一郎 氏

発表⑦ 「町ぐるみで子どもを育てるPTA組織

～地域協働の活性化をめざして～」

越知中学校PTA会長 坂本 英史 氏

発表⑧ 「気づく・つながる・支えあう おすそわけの輪で地域を元気に！」

おすそわけ食堂まど 陶山 智美 氏

発表⑨ 「コロナ×社会教育=?? ～これから大切にしたいこと～」

土佐清水市立中央公民館長 岩井 拓史 氏

事業名	現状	課題と今後の方向性
高知県社会	<p>・実行委員…R2:5名→R3:5名</p> <p>・参加者数…R2:107名→R3:97名</p>	<p>・県内で新型コロナウイルス感染陽性反応者が増えたため、実践発表につい</p>

教育実践交流会	<p>・県内参加市町村数…R2:18→R3:15 コロナ禍でも社会教育の歩みを止めないため、対面形式での実施を決定。 今年度より実行委員会を4回に増やし、協議の場を増やすこととなった。</p>	<p>ては文書による発表となり、人と人との交流が十分にできなかった。 ・コロナ禍においても社会教育を止めないために、開催方法を検討し今後も実施していく。</p>
---------	--	---

(2) 放課後子ども教室推進事業及び放課後児童クラブ推進事業に係る支援員等研修

①新・放課後子ども総合プラン推進事業に係る資質向上研修

■防災対策研修 (参加者 68 名)

【評 価】

満足度：大変良かった 67.7%、良かった 32.3%、良くなかった 0%

今後に役立つ内容か：とてもそう思う 73.0%、そう思う 27.0%、そう思わない 0%

【開催日及び会場】

中部会場：令和3年6月17日(木) 高知青少年の家

東部会場：令和3年6月22日(火) 安田町文化センター

西部会場：令和3年7月6日(火) 黒潮町役場

【内 容】

◆講義：「南海トラフ地震に備えて、今できること、すべきこと」

講師：高知県教育委員会事務局学校安全対策課 課長補佐 清久 博文 氏

◆演習：避難時や避難後に想定されるクイズ、防災マニュアル等のチェック、情報交換等

■防災対策研修・オンデマンド配信 (参加者 57 名)

【評 価】

満足度：大変良かった 33.3%、良かった 64.9%、良くなかった 1.8%

今後に役立つ内容か：とてもそう思う 39.3%、そう思う 60.7%、そう思わない 0%

【内 容】※講義のみ

◆講義：「南海トラフ地震に備えて、今できること、すべきこと」

講師：高知県教育委員会事務局学校安全対策課 課長補佐 清久 博文 氏

■発達障害への理解に関する研修 (参加者 第1回理解編 97名・第2回対応編 83名)

【評価】

(第1回) 満足度：大変良かった 48.5%、良かった 50.5%、良くなかった 1.0%

今後に役立つ内容か：とてもそう思う 55.9%、そう思う 43.0%、そう思わない 1.1%

(第2回) 満足度：大変良かった 47.6%、良かった 51.2%、良くなかった 1.2%

今後に役立つ内容か：とてもそう思う 53.1%、そう思う 45.7%、そう思わない 1.2%

【開催日及び会場】

(第1回) 東部会場：令和3年11月1日(月) 安芸市総合社会福祉センター

中部会場：令和3年11月2日(火) いの町総合保健福祉センター

西部会場：令和3年11月11日(木) 四万十市立文化センター

(第2回) 東部会場：令和3年12月1日(水) 安芸市総合社会福祉センター

西部会場：令和3年12月2日(木) 四万十市立文化センター

中部会場：令和3年12月8日(水) 高知県立高知青少年の家

【内 容】

◆講義：「多様な個性をもつ子どもたちとの関わり～特別な支援を必要とする児童の理解と対応～」

講師：高知県教育委員会事務局特別支援教育課 チーフ 板橋 潤子 氏

指導主事 岳本 由美 氏

指導主事 山本 裕久 氏

※第1回の内容は、特別な支援を必要とする児童の「理解」を中心に、第2回の内容は、「対応の仕方」を中心にしました。

◆演習：ABC分析や氷山モデルを活用した個人思考、グループによる情報共有

■実践発表会

【開催日及び会場】

中部会場：令和4年1月13日（木） 高知県立高知青少年の家

西部会場：令和4年1月14日（金） 四万十市立文化センター

東部会場：令和4年1月18日（火） 高知県立青少年センター

【内容】

◆実践発表：「放課後児童クラブ・放課後子ども教室の実践発表を通し、日々の活動における工夫などを共有し支援員等の資質の向上を図る」

◆実践発表者：須崎市あそび児童クラブ 松浦 啓子 氏（中部会場）
黒潮町放課後子ども教室コーディネーター 川崎 健太郎 氏（西部会場）
香南市若杉児童クラブ 高松 和佳 氏、公文 君枝 氏（東部会場）

②放課後児童支援員認定資格研修（受講者67名、うち修了者62名）

【開催日】令和3年9月19日（日）、10月10日（日）、11月7日（日）、11月28日（日）

【会場】土佐市複合文化施設つな一で（9月19日のみ、高知青少年の家と2会場で実施）

【目的】「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」（平成26年厚生労働省令第63号）に基づく、児童クラブに従事する放課後児童支援員として、必要最低限の知識及び技能の習得とそれを実践する際の基本的な考え方や心得を認識することを目的とした講義等を、1日あたり4科目（1科目90分）、計4日間、1回実施。

【講師】NPO法人日本放課後児童指導員協会（委託）

③子育て支援員研修 放課後児童コース（受講者51名、うち修了者50名）

【開催日】令和3年9月4日（土）、9月5日（日）

【開催方法】オンライン（Zoom）及び後日オンデマンド配信

【目的】地域において子育て支援の仕事に関心を持ち、放課後児童クラブ等に従事することを希望する者に対し、多様な子育て支援分野に関して必要となる知識や技能等を修得するため、これらの支援の担い手となる子育て支援員の資質の確保を図ることを目的とした講義等を、1日あたり3科目（1科目90分）、計2日間実施。

【講師】岡山大学 准教授 中山 芳一 氏

事業名	成果	課題と今後の方向性
新・放課後子ども総合プラン推進事業	資質向上研修 <u>（各テーマ共通）</u> ・新型コロナウイルス感染防止の観点から、オンデマンド配信による受講を可能にした。 ・オンデマンド配信をすることにより、集合研修では参加がなかった地域から、アンケートの提出があった。	資質向上研修 ・アンケートより、参加者は参加者同士の情報共有や具体的な事例を求めている傾向にあるので、現在の規模を縮小した形式から、少しずつ参加人数や時間を増やしていく必要がある。 ・オンデマンド配信による研修は、今後も継続していく。配信内容について

- ・集合研修及びオンデマンド配信による研修への参加率（3テーマいずれか）
R2：74% → R3：86%
R2：26市町村 → R3：30市町村
(防災)
- ・防災研修後、防災マニュアルを見直す市町村があった。
(実践発表)
- ・初めての試みとして、県内3地区の支援員等による実践発表を実施した。

放課後児童支援員認定資格研修

- ・放課後児童クラブに配置が必要となる放課後児童支援員の資格を付与する。
- ・受講者数（うち修了者数）
R2：95（89）→R3：67（62）
- ・昨年度までは、対象者を原則として放課後児童クラブもしくは放課後子ども教室の従事者に限定していたが、今後従事を希望する者も含めての募集に変更した。しかしながら、昨年度より受講者数は減少となった。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で、1日目・2日目は講師のみZoomによる講義となった（受講者は集合形式。1日目のみ2会場に分散）。

子育て支援員研修

- ・補助員として勤務する際に必要な知識の習得。
- ・放課後児童支援員認定資格研修の受講要件に該当しなくても受講可能。
- ・修了者数
R2：17名→R3：50名
- ・新型コロナウイルス感染症拡大時期の開催となり、Zoom及びオンデマンド配信へと変更し実施した。
- ・市町村教育委員会にオンライン研修が受講可能な環境作りに協力いただくことで、受講者数の増加につながった。

は、視聴者に効果的なものとなるよう更に吟味していく。

- ・オンデマンド配信による研修が、市町村主催の研修の1つとして活用できるよう働きかけをしていく。
- ・感染対策を徹底することにより、グループ協議や実技等の具体的な内容に取り組めるようにする。
- ・アンケートの意見を参考にしながら、支援員等による実践発表は今後も継続していく。

放課後児童支援員認定資格研修

- ・市町村担当者へのヒアリング等では、「責任の重さや、扶養の範囲内での勤務を希望する等の理由で、受講してほしい従事者に受講してもらえない」といった声が挙げられている。
- ・次年度以降も開催することに加え、人材確保に向けた市町村への支援も継続して行っていく。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては開催方法の変更が必要になるが、「市町村条例で配置が求められる資格者の養成」という性質上、可能な限り集合形式で実施する。

子育て支援員研修

- ・保育や教育関係への従事経験がない者でも放課後児童クラブに従事することができるため、資質に差が生じている。
- ・年度当初から市町村へ周知を行い、従事して間もない職員を中心に受講を推奨していく。
- ・今後も開催時期の状況によりオンライン研修を取り入れるなど、臨機応変に対応していく。

③「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」活用のためのファシリテーター養成研修会およびプログラムを活用した講座の開催

①「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」を活用した家庭教育支援を行うファシリテーター養成研修会（申込者 17 名、認定者 15 名、満足度 87%）

【開催日及び会場、内容】

基礎編：令和 3 年 10 月 15 日（金） 高知県立高知青少年センター 青少年ホール
『子どもの心を開くコミュニケーションの仕方を学ぶ“体験型講演会”
講義とロールプレイによる体験学習』

（講師：NPO 法人ハートフルコミュニケーション代表理事 菅原 裕子 氏）

活用編：令和 3 年 10 月 22 日（金） 高知県立高知青少年の家 大集会室
プログラムの概要、プログラム体験

実践編：令和 3 年 11 月 5 日（金） 高知県立高知青少年の家 研修室

②「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」体験研修会

【開催日】 東部：令和 4 年 2 月 22 日（火） 高知県立青少年センター

中部：令和 4 年 2 月 25 日（金） 高知県立高知青少年の家

西部：令和 4 年 2 月 21 日（月） 大方あかつき館

参加者によるファシリテーター体験・演習（アイスブレイク、プログラム）

③「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」を活用した講座

日時	申込者	対象	人数	内容
6 月 18 日（金）	川北保育所	保護者 職員	15	子育てのイライラとうまく付き合う親になろう
7 月 24 日（土）	めぐみ乳児園	保護者・職員	27	イヤイヤ期、スマホの使い方
8 月 19 日（木）	足摺岬保育園	保護者・職員	6	子どものトラブル一緒に考えよう
9 月 28 日（火）	いの町地域子育て支援センターぐりぐら広場	職員	10	子どもたちにしてあげたいこと
11 月 15 日（月）	きらら保育園	保護者・職員	11	子どものトラブルについて一緒に考えよう
12 月 8 日（水）	蘇岡保育所	保護者・職員	12	子育てのイライラとうまく付き合う親になろう
1 月 13 日（木）	土佐幼稚園	保護者・職員	28	子どもの食事ってこれでいいの？
1 月 18 日（火）	認定こども園ごほく	保護者・職員	14	子育てって…

④「高知家の早寝早起き朝ごはんフォーラム 2021」

【開催日】 令和 4 年 1 月 30 日（日）

【会 場】 オーテピア高知図書館 4 階ホール他、オンライン

【内 容】 実践発表：「幡多はひとつ」ーみんなで育てる幡多の子どもー
発表者 幡多地区小中学校 P T A 連合会

講演：「食べよう、朝ごはん！～育ち盛りの朝食のススメ～」

講師 大妻女子大学短期大学専任講師・博士 小野 友紀 氏

事業名	成果	課題と今後の方向性															
(3) 家庭教育 支援基盤 形成事業	<ul style="list-style-type: none"> ・18市町村 ・家庭教育支援チーム：6市町村（須崎市、宿毛市、四万十市、土佐町、日高村、馬路村） ・「親プロ」活用講座・研修会 <table border="0"> <tr> <td>実施</td> <td>参加者</td> <td>派遣 ファシリテーター</td> </tr> <tr> <td>H30 10回</td> <td>364名</td> <td>22名</td> </tr> <tr> <td>R1 20回</td> <td>536名</td> <td>33名</td> </tr> <tr> <td>R2 7回</td> <td>76名</td> <td>9名</td> </tr> <tr> <td>R3 7回</td> <td>109名</td> <td>7名</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">(1月現在)</p>	実施	参加者	派遣 ファシリテーター	H30 10回	364名	22名	R1 20回	536名	33名	R2 7回	76名	9名	R3 7回	109名	7名	<ul style="list-style-type: none"> ・「家庭教育支援チーム」の組織化と活性化。 ・派遣するファシリテーターが固定しないよう、ファシリテーターのスキルを向上するための工夫が必要。 ・新型コロナウイルス感染症の対策を講じた講座の開催
実施	参加者	派遣 ファシリテーター															
H30 10回	364名	22名															
R1 20回	536名	33名															
R2 7回	76名	9名															
R3 7回	109名	7名															

⑤「学習相談・学習支援」検討会

【開催日】令和3年11月19日（金）

【会場】塩見記念青少年プラザ3F会議室

【内容】○「地域における学びを通じたステップアップ支援促進事業」の事業内容説明及び実施状況

○高等学校卒業程度認定試験について ・高知県の現状 ・若者サポートステーション利用者実施状況

○各市町村の生活保護受給世帯数について

○意見交換 ・学習相談・学習支援に関する具体的方策 ・高等学校卒業程度認定試験 ・支援対象者の誘導 ・高校中退から就労に至るまでの間に必要な支援 ・支援における関係機関の連携 ・事業成果の評価検証 など

事業名	成果	課題と今後の方向性
地域における 学びを通じた ステップアップ 支援促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・10月末実績（若者サポートステーション） -前年度末在籍利用者 94名 新規登録者 49名 学習相談 1,012件、実人数 97名 学習支援 344件、実人数 31名 アウトリーチ 201件、実人数 44件 就労 22名（非正規 21、職業訓練 1） 修学 10名（進学 4、復学 1、高卒認定 5） ・参加者（8名〔当該事務局2名含む〕） 教育委員会事務局高等学校課 1名 同人権教育・児童生徒課 1名 県子ども・福祉政策部地域福祉政策課 1名 各若者サポートステーション 3名 ・各若者サポートステーションによる支援状況の理解促進と各課の事業展開における連携を図ることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高2生の退学前（夏頃）からの相談が増加傾向。また、小中学校不登校児童生徒数が全国ワースト1位。学校から個人情報を収集する「若者はばたけネット」の周知活動を継続する。 ・次年度においても、福祉部局等との連携・協働する推進体制の構築に努めるため、年1回、実施する方向

(4) その他

- ・高知県版地域学校協働本部への展開に向けた実施校における取組
3要件①充実した地域学校協働活動の実施
 - ②学校と地域との定期的な協議の場の確保
 - ③民生・児童委員の参画による見守り体制の強化
- R3実施校8市町49校（小学校35校、中学校13校、義務教育学校1校）で取組（12月現在）
- ・民生委員・児童委員への地域学校協働本部の周知・参画要請
 - 参画率99.6%（令和3年度地域学校協働本部事業取組状況調査）
- ・県小中学校長会や県民生委員・児童委員協議会連合会総会等、社会教育関係団体等との協力支援体制の強化により、地域学校協働本部の設置促進と内容の充実を推進
- ・地域学校協働本部事業及び新・放課後子ども総合プラン推進事業（放課後子ども教室、放課後児童クラブ）に関する取組状況調査の実施（8月、9月）
- ・市町村訪問等
 - 地域学校協働本部関係ヒアリング（9/6～11/22 33市町村1学校組合）
 - 放課後子ども教室及び放課後児童クラブ関係ヒアリング（9/1～10/5 33市町村1学校組合）
- ・第41回中国・四国地区社会教育研究大会高知大会（11/15・16）
- ・高知県社会教育委員会
 - 5/21（金）第1回
 - 10/22（金）第2回
 - 2/14（月）第3回（予定）
 - 3/14（月）第4回（予定）
 - 3/25（金）中間報告会

令和3年度 コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）推進事業実績報告

1. コミュニティ・スクール推進事業費補助金

【目的】域内全小中学校に学校運営協議会を設置する

補助率：国 1/3 県 1/3 市町村 1/3

【補助金活用市町村】南国市・室戸市・いの町・土佐清水市

2. 推進体制の構築

(1) コミュニティ・スクールの導入推進に向けて管理職等への研修会の実施

「地域と共にある学校づくり研修会」(参加者 101名)

【期日】令和3年8月30日(月)

【会場】オンライン研修

【内容】・先進地域取組発表(香美市・黒潮町・津野町)

・講話(京都精華女子大学 西 孝一郎 准教授)

(2) 生涯学習課と連携した市町村教育委員会への訪問

【目的】コミュニティ・スクールの準備・導入状況の聞き取り

【実施】10～12月

【訪問先】26市町村

3. 令和3年度コミュニティ・スクール導入校(導入済み38校、予定2校、計40校)

	市町村名	小学校名	中学校名
東部	奈半利町(2)	奈半利	奈半利
	田野町(2) 予定	田野	田野
	香南市(9)	夜須・香我美・吉川・野市東・佐古	夜須・香我美・赤岡・野市
中部	南国市(2)	久礼田	香南
	大豊町(1)	おおとよ	
	本山町(1)	吉野	
	須崎市(1)	吾桑小	
	仁淀川町(5)	池川・別府・長者	池川・仁淀
	佐川町(4)	佐川・斗賀野・黒岩	佐川
	津野町(2)	精華	葉山
西部	黒潮町(6)	伊与喜・佐賀・上川口・入野	佐賀・大方
	宿毛市(5)	小筑紫・橋上・山奈	小筑紫・橋上

高知県内のコミュニティ・スクールの導入状況

※R3は予定も含む

指定年度	H19	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
累計	3校	4校	5校	6校	8校	15校	23校	33校	39校	42校	50校	61校	70校	110校

令和4年度 コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）推進事業計画

1. コミュニティ・スクール推進事業費補助金

【目的】 域内全小中学校に学校運営協議会を設置する

補助率：国1/3 県1/3 市町村1/3

【補助金活用予定市町村】

芸西村・土佐市・南国市

2. コミュニティ・スクールの導入推進に向けての研修会の実施

【期日】 令和4年8月上旬予定

【会場】 高知会館及びオンライン

【対象】 管理職、市町村教育委員会担当者

※オンラインにより校内研修等への活用も可能

3. 令和4年度コミュニティ・スクール導入予定校（51校）

	市町村名	小学校名	中学校名
東部	室戸市（2）	佐喜浜	佐喜浜
	馬路村（2）	馬路小中・魚梁瀬小中	※小中合同設置
中部	大豊町（1）	おおとよ義務教育学校	
	南国市（1）	国府	
	本山町（2）	本山	嶺北
	土佐市（12）	宇佐・新居・高石・高岡第一 高岡第二・蓮池・波介・北原 ・戸波	土佐南・高岡・戸波
	須崎市（2）	浦ノ内小中	※小中合同設置
西部	四万十市（1）	中筋	
	土佐清水市（7）	下ノ加江・幡陽・足摺岬・ 清水・三崎・下川口	清水
	宿毛市（8）	大島・威陽・沖の島・平田	片島・沖の島・宿毛・東
	大月町（2）	大月	大月
高知市（11校）		第四・江ノ口・鴨田・一宮・ 潮江南	朝倉
		春野東小・春野西小・春野中 鏡小中	※中学校区で合同設置 ※幼小中合同設置

令和4年度コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）推進事業（案）

小中学校課

事業概要

平成29年4月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正され、これまで任意であった学校運営協議会の設置が努力義務となったことを受け、各市町村（学校組合）教育委員会に対し、所管の小中学校への学校運営協議会の設置に関する効果的な支援を行うことで、学校と地域の連携・協働による教育活動の充実を図り、「地域とともにある学校づくり」を推進する。

期待される効果

○2023(令和5)年度までに全ての市町村(学校組合)教育委員会において、管内の小中学校にコミュニティ・スクールが導入される。
○地域学校協働本部等との協働による学校運営の工夫・改善の実践を県内に広く普及する。
【検証方法】「コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動実施状況調査について」(文部科学省調査)

現状・課題

○本県でコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)導入率は37.9%(27市町村教育委員会、107校)であり、地域学校協働本部整備を導入している学校の割合(95.7%)に対して低い。
【コミュニティ・スクール導入校数】(令和3年9月現在)
・小学校:67校、中学校:40校、義務教育学校:2校
○コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)導入状況
-「運営協議会の設置済及び2022年度中に設置予定・検討と回答した学校数」216校(76.6%)
-「運営協議会の設置済及び2023年度中に設置予定・検討と回答した学校数」265校(94.0%)
(「2021年度コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動実施状況調査について」文部科学省調査より、令和3年9月現在)

事業目標

○2023(令和5)年度までに全ての市町村(学校組合)教育委員会において、管内の小中学校にコミュニティ・スクールが導入される。
○地域学校協働本部等との協働による学校運営の工夫・改善の実践を県内に広く普及する。
【検証方法】「コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動実施状況調査について」(文部科学省調査)

実施内容

(1) コミュニティ・スクール推進事業費補助金

目的: 域内全小中学校に学校運営協議会を設置する
補助率: 国1/3 県1/3 市町村1/3

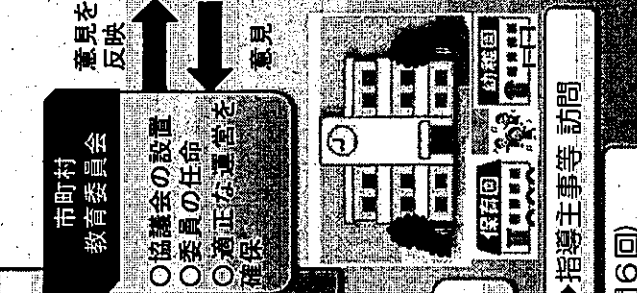
※補助対象

- ① コミュニティ・スクール推進協議会の設置等経費
- ② コミュニティ・スクールの運営や学校種間調整、分野横断的な活動の総合調整など総括的な立場で調整を行う人材(CSティクター)経費
- ③ 先進校視察や研修会等の実施にかかる経費

(2) 他課、高知市との連携による推進体制の構築

- ◆ コミュニティ・スクールの導入推進に向けて
管理職及び教職員等への研修会の実施(1回)
計画・立案
- ◆ 市町村担当者への説明会の実施(オンライン)
・ コミュニティ・スクール未導入の市町村への情報発信・周知
- ◆ 各研修会や協議会等への相互参加(随時)、合同担当者会の実施(年間6回)
◆ 指導主事等 訪問

生涯学習課・高等学
校課・幼保支
援課・高知市
等



R1 人材育成・設置計画 R2 人材育成・体制整備 R3 全市町村で導入あるいは導入の検討 R5 全ての小中学校に導入

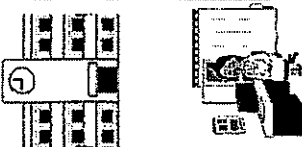
令和3年度 高知県スクールヘルスリーダー派遣事業

派遣期間：令和3年5月1日～令和4年2月28日
スクールヘルスリーダー14名を派遣

未配置校・・・13校
(派遣回数：10回～20回/校)
(R3年10月までの派遣回数：116回)

経験の浅い養護教諭配置校・・・9校
(派遣回数：10回/校)
(R3年10月までの派遣回数：57回)


※講師配置校は未配置校と位置付ける。



令和3年度スクールヘルスリーダー活動内容

(R3年5月～令和4年2月)

- ・健康観察
- ・環境衛生(感染症対応含む)
- ・関係者との連携
- ・保健指導、健康教育(生活習慣、歯科保健、性に関する指導、がん教育、食物アレルギー委員会等)
- ・健康相談
- ・救急処置(修学旅行・遠足・体育祭等)
- ・健康診断(検診及び事後措置)
- ・スポーツ振興センター事務処理
- ・その他(学校保健計画の見直し、保健室の清掃、小中養護部会への助言)



成果と課題


(R3年5月～令和4年2月)

【成果】

- 児童生徒の健康管理の向上
- 学校保健の内容に関する教職員への支援の充実
- 個別対応の充実(健康管理、保健指導、不登校への対応等)
- 教職員や各関係機関等との連携の充実
- 学校行事等における救急体制の充実
- 学校保健計画の見直し等

【課題】

- 4月当初の派遣が困難
- 予算によって派遣回数が増やせないことがある
- 限られた派遣回数の中における活動の充実
- 派遣校での教職員との連携
- スクールヘルスリーダーの質向上の機会
- 若年養護教諭との円滑なコミュニケーション



令和4年度 高知県スクールヘルスリーダー派遣費について

- ◆令和4年度も実施予定
- ◆実施スケジュール
3月下旬頃：対象の市町村に派遣事業の実施要項を送付
4月上旬頃：派遣学校の決定
4月下旬頃：スクールヘルスリーダー連絡協議会を開催
5月：派遣開始

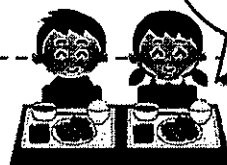
令和3年度食育推進支援事業（食事提供活動支援事業）実施状況

<事業目的> 望ましい生活習慣の基礎となる朝食摂取を推進し、児童生徒の実践する力を育成するために、学校と地域等が連携した家庭へのアプローチや地域を巻き込んだ取組を行い、ボランティアによる食事提供活動の充実を図る。

市町村	学校	実施団体	実施予定回数等
香美市	大柵小学校	物部地域学校協働本部	2回/年 バイキング形式あり
	大柵中学校		1回/年 バイキング形式あり
高知市	潮江南小学校	潮江南地域連合会	<ul style="list-style-type: none"> ●6/1～7/20 2回/週（朝食提供） ●7/21～8/31 月～金（昼食提供） ●9/1～12/26 2回/週（朝食提供） ●12/27、12/28、1/4～1/10 月～金（昼食提供） ●1/11～ 2回/週（朝食提供）

<食事提供の例>

- 潮江南小学校
- チキンライス、サラダ、ちりめんじゃこ、味噌汁、くだもの



食材の一部が
学校給食会か
ら現物支給

成果と課題

< 成果 >

- ◆準備作業をする子どもに明るさや意欲等がみられ、食への興味や生活力を身につけることが出来てきていることがうかがえる。
- ◆参加者の感想に、朝ご飯の大切さを知った、家でも健康なご飯が食べれるようになってきた、3色そろった栄養のある朝ご飯は大切だと思う、栄養バランスのとれた食事はおいしかった等の意見があった。
- ◆児童・生徒・教職員が、バランスよく朝ご飯を食べると、1日のスタートがしっかり切れるという事を、実感できるいい機会となっている。
- ◆事業継続により、朝食摂取率が100%となった。
- ◆朝食をとった後は元気に午前中を過ごすことができおり、朝食の大事さを実感する機会となった。
- ◆準備作業の中で、高学年の子どもが低学年の子どもに調理の仕方を教えてあげる等、異年齢間の交流により、社会性や協調性を育む機会となっている。

< 課題 >

- ◆実施団体の確保、地域の方の協力を得ることが難しい。
- ◆実施団体が、円滑な運営のために、学校から協力を得ることが難しい場合がある（早朝の開錠など）。
- ◆事業の対象としたい子ども達は厳しい環境にある場合が多く、参加を促すには根気強い声かけが必要。

※令和2年度実施活動報告書等より

令和4年度事業計画について

- ◆令和4年度も実施予定
- ◆実施スケジュール
 - 4月初旬頃：各市町村(学校組合)教育委員会に応募要領を送付
 - 5月中旬頃：実施団体の選定
 - 6月初旬頃：事業開始

※数件、新規の団体から問い合わせあり

市町村名	地域学校協働活動						新放課後子ども総合プラン(小学校)		家庭教育支援事業	外部人材を活用した教育支援活動事業
	本部数	実施学校数					児童クラブ	子ども教室		
		小学校	中学校	義務教育学校	高校	その他(小・中)				
1 室戸市	6	5	4			1	2	4		
2 安芸市	10	8	2				5	9		
3 南国市	17	13	4				17	3		
4 土佐市	11	9	3				6	7	○	
5 須崎市	11	8	5				6	5	○	
6 宿毛市	11	8	6				3	5	○	
7 土佐清水市	1	6	1				1	6	○	
8 四万十市	14	13	9				15	7	○	
9 香南市	9	7	4				12	3		
10 香美市	9	7	3			1	10	3	○	○
11 東洋町	1	2	2					1		
12 袋井町	1	1	1			1	1	1		
13 田野町	1	1	1			1		1	○	
14 安田町	1	1	1			1		2		
15 北川村	1	1	1					1	○	
16 馬路村	1	2	2					1	○	
17 芸西村	1	1	1			2	1	1	○	
18 本山町	1	2	1				1	2		
19 大豊町	1	1	1					3		
20 土佐町	1	1	1					1	○	
21 大川村	1	1	1					1	○	
22 いの町	8	7	5				8	2	○	
23 仁淀川町	1	3	2					3	○	
24 中土佐町	3	3	2			1	1	2		
25 佐川町	5	4	2				2	3		
26 越知町	1	1	1				1		○	
27 梶原町	1	1	1					1		
28 日高村	1	2	1				1	2	○	
29 津野町	2	3	2			2		3	○	
30 四万十町	15	12	4				1	12	○	
31 大月町	1	1	1					1		
32 三原村	1	1	1					1		
33 黒潮町	1	8	2					4		
34 学校組合	(1)	(1)	(1)				1			
35 高知市	30(46)	27	2(17)	1(2)			94	41		
36 県立	8				8					
事業実施合計	188	171	80	1	8	10	189	142	18	1
合計	(205)	(172)	(96)	(2)	8	10	189	142	18	1

※地域学校協働活動の()内の数字は、高知市版地域学校協働本部実施校16校及び一財対応の学校組合2校を含む。

令和 4 年度高知県地域学校協働活動推進委員会及び研修会等の年間事業計画

1. 事業の総合的なねらい

地域住民等の参画による地域の実情に応じた取組を有機的に組み合わせて、学校に対する多様な協力活動や、学習活動等を通じて地域のつながり・絆を強化し、地域の活性化を図る取組、放課後等に子どもたちの安全・安心な活動場所を確保して学習や様々な体験・交流活動の機会を提供する放課後等支援、また保護者への学習機会の提供や相談対応などの家庭教育支援等を実施し、子どもたちの社会性・自主性・創造性等の豊かな人間性を涵養するとともに、地域社会全体の教育力の向上を図り、地域の活性化や子どもが安心して暮らせる環境づくりを推進する。

2. 重点取組

- (1) 市町村担当者、地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）、学習支援員、協働活動支援員、協働活動サポーター、放課後児童支援員等の資質向上を目的とした各種の研修会を開催し、情報交換・共有の場とする。
- (2) 各教育事務所及び高知市に配置している学校地域連携推進担当指導主事とともに、コミュニティ・スクールや地域学校協働本部の設置促進と活動内容の充実を図る。
- (3) 子どもたちの見守り機能をさらに発揮するため、より多く、より幅広い層の地域住民や団体等に、きめ細かく密接に学校に関わっていただく形をつくるなど、学校と地域がパートナーとして子どもたちを見守り育てる高知県版地域学校協働本部の取組を推進する。
- (4) 「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」の普及・啓発を図るとともに、ファシリテーターを養成する研修会を実施する。
- (5) 事業実施市町村へのヒアリングやアンケート等により、事業の効果や課題について調査を行い、事業を検証するとともに、市町村が実施する運営委員会や研修会に参加し、円滑な事業運営を支援する。
- (6) 若者サポートステーションの修学・就労支援により、高等学校未卒の若者（20 歳から 39 歳及び市在住の 15 歳から 19 歳）の社会的自立を推進する。

3. 事業計画

(1) 推進委員会

時期	内 容
10 月中旬	・ 令和 3 年度実績報告 ・ 令和 4 年度中間報告 等
1 月下旬	・ 令和 4 年度事業報告 ・ 令和 5 年度事業計画 等

(2) 研修会等

① 全体研修

時期	内 容
6～7 月	高知県地域学校協働活動研修会（全体研修会） ・ 講演、実践発表、意見交換 等
未定	高知県地域学校協働活動研修会（ブロック別研修会） ※西部・中部・東部・高知市

	・実践発表、意見交換 等
6～12月 (予定)	地域コーディネーター研修会 ※3会場で各2回(西部・中部・東部) ・講演、ワークショップ、意見交換等
1月	高知県社会教育実践交流会 ・特別報告、パネルディスカッション、事例発表 等

②新・放課後子ども総合プラン推進事業に係る支援員等研修

■新・放課後子ども総合プラン推進事業に係る資質向上研修 ※東部、中部、西部地区別に開催

- ・安全・防災(6月)
- ・学校との個人情報の取扱いとプライバシー保護に関する研修会(10月)
- ・子どもの発達と発達障害への理解を促進する研修会(12月)
- ・実践発表会(1月)

※時宜を得た研修の必要性が生じた場合は、テーマの変更または追加で1テーマ実施(新型コロナウイルスや防犯等)

■放課後児童支援員認定資格研修(10月～12月)

- ・年1回(1回あたり16科目24時間、計4日間の連続講座)

■子育て支援員研修 放課後児童コース(9月)

- ・年1回(6科目9時間、計2日間の連続講座)

③「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」を活用した家庭教育支援を行うファシリテーター養成研修会及び講座の開催

- ・段階的なファシリテーター養成(基礎編・活用編・実践編)
- ・保育所や地域子育て支援センター等での講座の開催…ファシリテーター認定者の派遣

④「高知家の早寝早起き朝ごはんフォーラム2022」の開催

子供たちの基本的な生活習慣の維持・向上、定着の重要性を伝え、地域一丸となった取組をより一層促進させるために「高知家の早寝早起き朝ごはんフォーラム2022」を開催します。

⑤「『学習相談・学習支援』検討会」の開催

- ・若者サポートステーションについての理解促進(支援状況等)
- ・教育委員会や福祉部局、労働関係部局等との連携・協働する推進体制の構築に努める

(3) その他

- ・高知県版地域学校協働本部への展開に向けた実施校における取組

3要件①充実した地域学校協働活動の実施

②学校と地域との定期的な協議の場の確保

③民生・児童委員の参画による見守り体制の強化

- ・県小中学校長会や県民生委員・児童委員協議会連合会総会、社会教育関係団体等との協力支援体制の強化や地域学校協働本部実践ハンドブック等の活用により、地域学校協働

本部の活動の充実、質の向上に取り組む

- ・地域学校協働本部事業及び新・放課後子ども総合プラン推進事業（放課後子ども教室、放課後児童クラブ）に関する取組状況調査の実施（8～9月頃）

市町村名	地域学校協働活動						新放課後子ども総合プラン(小学校)		家庭教育支援事業
	本部数	小学校	中学校	義務教育学校	高校	その他(小・中)	児童クラブ	子ども教室	
1 室戸市	6	5	4			1	2	4	
2 安芸市	10	8	2				5	9	
3 南国市	17	13	4				17	3	
4 土佐市	11	9	3				6	7	○
5 須崎市	11	8	5				6	5	○
6 宿毛市	11	8	6				3	5	○
7 土佐清水市	1	6	1				1	6	○
8 四万十市	15	13	5				15	7	○
9 香南市	9	7	4				12	3	
10 香美市	9	7	3			1	10	3	○
11 東洋町	1	2	2			2		1	
12 奈半利町	1	1	1			1	1	1	
13 田野町	1	1	1			1		1	○
14 安田町	1	1	1			1		2	
15 北川村	1	1	1					1	○
16 馬路村	1	2	2					1	○
17 芸西村	1	1	1			2	1	1	○
18 本山町	1	2	1				1	2	○
19 大豊町	1			1				3	
20 土佐町	1	1	1					1	○
21 大川村	1	1	1					1	○
22 いの町	8	7	5				8	7	○
23 仁淀川町	1	3	2					3	○
24 中土佐町	3	3	2			1	1	2	
25 佐川町	5	4	2				3	3	
26 越知町	1	1	1				1		○
27 梶原町	1	1	1					1	
28 日高村	1	2	1				1	2	○
29 津野町	2	3	2			2		3	○
30 四万十町	15	12	3				1	12	○
31 大月町	1	1	1					1	○
32 三原村	1	1	1					1	
33 黒潮町	1	8	2					4	
34 学校組合	(1)	(1)	(1)				1		
35 高知市	37(48)	29	6(11)	2			94	41	
36 県立	9				9				
事業実施予定 合計	197	172	79	3	9	12	190	147	20
合計	(209)	(173)	(90)	3	9	12	190	147	20

※地域学校協働活動の()内の数字は、高知市版地域学校協働本部実施校11校及び一財対応の学校組合2校を含む。

令和3年12月31日現在

登録状況	個人	企業・団体	協力 企業・団体
	359	50	65

登録者の属性は、大学生17、
現職教員8、退職教員21、塾講師14、
その他299、登録企業・団体50、協力企業・団体
65

【市町村別登録者数】

令和3年12月31日現在

NO.	市町村	登録数		協力 企業・団体	NO.	市町村	登録数		協力 企業・団体
		個人	企業・団体				個人	企業・団体	
1	室戸市	10	0	1	19	大豊町	2	0	0
2	安芸市	3	0	0	20	土佐町	2	0	1
3	南国市	32	1	4	21	大川村	0	0	0
4	土佐市	14	1	0	22	いの町	17	2	0
5	須崎市	13	3	0	23	仁淀川町	3	0	0
6	宿毛市	9	0	0	24	中土佐町	1	0	0
7	土佐清水市	8	0	0	25	佐川町	5	0	0
8	四万十市	10	1	0	26	越知町	1	0	1
9	香南市	16	0	2	27	梶原町	3	0	0
10	香美市	27	1	2	28	日高村	5	1	2
11	東洋町	0	0	0	29	津野町	0	0	0
12	奈半利町	0	0	0	30	四万十町	11	2	0
13	田野町	1	0	1	31	大月町	3	2	0
14	安田町	3	0	0	32	三原村	0	0	1
15	北川村	0	0	0	33	黒潮町	5	1	1
16	馬路村	0	0	0	34	高知市	148	35	48
17	芸西村	3	0	1		県外	1	0	0
18	本山町	3	0	0		合計	359	50	65

【団体登録及び協力団体】

登録企業

令和3年12月31日現在 (順不同)

No.	登録企業名	協力内容	No.	登録企業名	協力内容
1	相愛	出前講座	14	栄産業株式会社	職場体験・出前講座
2	ほけんの110番	出前講座	15	レンタル衣装わかば	出前講座
3	桂浜水族館	職場体験・出前講座	16	高橋裕忠行政書士事務所	出前講座
4	丸の内法律事務所	出前講座	17	内外典具帖紙株式会社	出前講座
5	株式会社JAEナジーごうち	職場見学・職場体験	18	学校法人 平成学園	出前講座
6	株式会社ソニック	出前講座	19	株式会社 フタガミ	出前講座
7	清和アグリス株式会社	出前講座	20	有限会社 香北電機	出前講座
8	コーチ社労士事務所	職場体験・出前講座	21	株式会社 伽羅葉	出前講座
9	株式会社RT	職場見学・職場体験	22	中宏文 建築設計事務所	出前講座
10	株式会社クイーク	職場体験・出前講座	23	ミタニ建設工業株式会社	出前講座
11	株式会社 建商	出前講座	24	ダイニングプランナー株式会社	出前講座
12	株式会社オルトル	出前講座	25	明神水産株式会社	職場体験・出前講座
13	株式会社 アイユート	職場体験・出前講座	26	四国運輸株式会社	職場体験・出前講座

登録団体

No.	登録団体名	協力内容	No.	登録団体名	協力内容
1	NPO法人こうちサポートネットワークイン	人材紹介・派遣	13	腹話術高知	出前講座
2	環境活動支援センターえこらぼ	出前講座・人材派遣	14	NPO法人四国自然史科学研究センター	出前講座
3	高知県シェアリングネイチャー協会	出前講座	15	かわうその里おはなしの会	出前講座
4	高知県生涯学習インストラクター協会	研修会講師・啓もう活動	16	四万十学舎	出前講座
5	高知県赤十字血液センター	出前講座	17	本のちよつとのあ・い・だ	出前講座
6	高知県地球温暖化防止推進委員の会	出前講座	18	出前訪問サークルひめじょおん	校外体験学習
7	高知県美容生活衛生同業組合	情報提供・人材紹介	19	四万十ふれあい動物村 プレーメン	出前講座
8	高知県理容生活衛生同業組合	情報提供・人材紹介	20	NPO法人黒潮実感センター	出前講座
9	高知コンサート・グループ香南支部	出前講座	21	海辺の自然史研究会	出前講座
10	四万十新聞バッグ高知県支部	出前講座	22	日本3B体操協会高知県支部	出前講座
11	新需要開拓マーケティング協議会	出前講座	23	WSS-JAPAN四国支社	出前講座
12	はぐみプロジェクト	研修会講師・研修会講師	24	(一財)高知環境検査センター	出前講座

協力企業

No.	協力企業名	協力内容	No.	協力企業名	協力内容
1	不二電気工芸㈱	出前講座	10	株式会社ガスキンサニーマート	出前講座
2	宮地電機㈱	出前講座	11	高知県農業協同組合香野支所	出前講座
3	株式会社四国銀行	出前講座	12	株式会社エースワン	出前講座
4	株式会社高知銀行	出前講座	13	有限会社ロイヤル	出前講座
5	四国ライフケア	出前講座	14	川北印刷株式会社	出前講座
6	株式会社浜幸	出前講座・職場見学	15	高知放送	出前講座
7	新進電気販売株式会社	出前講座	16	高知新聞社	出前講座
8	城西館	出前講座	17	日産サティオ高知SIS事業部	出前講座
9	有限会社栄樹造園	出前講座	18	ダイセイ㈱	出前講座

協力団体

No.	協力団体名	協力内容	No.	協力団体名	協力内容
1	高知県金融広報委員会 (日銀高知支店内)	出前講座	25	山・川・海の会	出前講座
2	『地球村』高知	出前講座	26	高知ケナフ普及会	出前講座
3	高知県森林研修センター情報交流館	出前講座・講師派遣	27	鏡川下流の貝を育てる会	出前講座
4	高知県ボランティアNPOセンター	人材紹介	28	高知フィールドミュージアム協会	出前講座
5	公益財団法人高知市文化振興事業団	人材紹介	29	四国カーボンオフセット推進協議会	出前講座
6	放送大学	人材紹介	30	劇団笛の会	出前講座
7	公益財団法人土佐山内家宝物資料館	出前講座	31	日本けん玉協会	出前講座
8	NPO法人ももたろう企画	出前講座	32	日本赤十字高知県支部	研修会講師
9	高知県スポーツチャンバラ協会	出前講座	33	高知コア研究所	施設見学等
10	ぶちらんど	研修会講師	34	農と生き物研究所	出前講座
11	高知県立のいち動物公園	出前講座	35	認NPO法人定カンガルーの会	研修会講師
12	高知県立月見山こどもの森	出前講座	36	NPO法人469maネット	出前講座
13	工房ポレポレ	出前講座	37	土佐の国 笑いと癒し研究所	出前講座・研修会講師
14	(株) 四万十ドラマ	出前講座	38	ライオンズクラブ	人材紹介
15	(株) 奇想天外(海洋堂ホビー館四万十)	出前講座	39	高知県婦人会	人材紹介
16	高知県聴覚障害者協会	出前講座	40	高知大学	人材紹介・出前講座
17	ボーイスカウト高知県連盟	出前講座	41	高知工科大学	人材紹介・出前講座
18	S.K. 未来創造研究所	研修会講師	42	一般社団法人Peaeo of New Farth	人材紹介
19	高知県レクリエーション協会	出前講座	43	コック・サン	本の寄贈
20	千斗枝グローバル教育研究所	出前講座・研修会講師	44	土佐和紙ちぎり絵交流会	出前講座・研修会講師
21	樹づくり工房夢遊	出前講座	45	高知県スポーツウツごっご連盟	出前講座
22	高知県立牧野植物園	出前講座	46	高知県埋蔵文化財センター	出前講座
23	高知自然学校連絡会	出前講座	47	高知地方气象台	出前講座
24	土佐竹とんぼの会	出前講座			

【市町村別出前講座申込・開催状況】

令和3年12月31日現在

	実施数	開催済						未開催 11月～ 開催予定	中止・キャンセル・不調			申込数
		子ども教室	合同	児童クラブ	合同	教室・クラブで合同	その他		自然災害 感染症予 防措置	主催者・ 講師の都 合	日程合わ ずマッチ ング不調	
高知市	9			7			2		6		4	19
室戸市												
安芸市	9	2		7							2	11
南国市	16	5		9			2	6	3	1	2	28
土佐市	7			7					3			10
須崎市	11	3		5			3		2		2	15
宿毛市												
土佐清水市	2	1		1								2
四万十市	3			3							1	4
香南市	16	1		15							1	17
香美市	14	1		13					1		1	16
東洋町												
奈半利町												
田野町												
安田町												
北川村												
馬路村	1	1							1		1	3
芸西村	3	2					1					3
本山町												
大豊町												
土佐町												
大川村	1	1							1			2
いの町	2	2						1				3
仁淀川町	2	2										2
中土佐町	3	3										3
佐川町												
越知町												
梶原町												
日高村	3			3					3			6
津野町												
四万十町	4	3		1								4
大月町												
三原村												
黒潮町												
合計	106	27		71			8	7	20	1		
マッチング件数	134										14	148

【出前講座箇所別マッチング状況】

子ども教室：27 子ども教室の合同：0 児童クラブ：71 児童クラブの合同：0 子ども教室と児童クラブの合同：0
 その他：8（※その他はPTA学年行事、社会福祉協議会、公民館行事等。） 開催予定（11月～）：7
 新型コロナウイルス感染症予防措置による中止：20 講師の都合によるキャンセル：1 日程合わずマッチング不調：14

【マッチング先別人数】

令和3年12月31日現在 延べ人数

学習支援・サポーター等			講師及び補助		その他	合計
子ども教室 学習室（小）	学習室 （中学校）	児童クラブ	出前講座	研修会等		
0	0	0	159	5	0	164

【出前講座申込・開催状況の推移】

年度	出前講座申込数	出前講座開催回数	夏季(7~8月)出前講座 申込数	夏季(7~8月)出前講座 開催回数
2017	212	198	178	164
2018	213	202	176	165
2019	274	215	251	213
2020	145	102	110	89
2021(4~12月)	148	106	127	95

【令和3年度出前講座実施状況及び参加者数】

参加者(延べ人数) 令和3年12月31日現在

参加小学生数	参加支援員数	参加保護者等	その他参加者	計
2,525	429	34	22	3,010

講師データ(職種別延べ人数)

令和3年12月31日現在

高校生	大学生	現職教員	退職教員	塾講師	その他	企業	団体	合計
0	0	0	16	1	64	5	51	137

講座別実施回数

令和3年12月31日現在

ものづくり									
ミニチュアガーデン作り	プラ板キーホルダー作り	石けんクラフト	森林学習とベン立て作り	森林学習と万華鏡作り	ジェルキャンドル作り	ウオータードーム	巨大シャボン玉作り	貝殻のクラフト(1)	ストーンアート
6	2	4	6	1	4	1	1	2	1
ものづくり									
新聞エコバッグ作り	五連発輪ゴム鉄砲作り	楠木鉢風りん	ヒノキの実のリース	ペットボトルロケット飛ばし	まきまきコップ	磁器絵付け【マグカップ】	森林学習と木工作	ハーバリウム(2)	リース作り
2	2	7	1	2	1	1	4	1	1
ものづくり					体験			学ぶ	
紙飛行機作り	早押しクイズ	ネイチャーゲーム	ジャグリング	バルーンアート	音楽と遊ぼう①クラシック音楽	音楽と遊ぼう②音楽療法	思いやりの魔法	十六ミ映画会	血液の話
3	1	2	1	2	1	1	2	7	8
学ぶ									
地震のはなし【防災学習】	手話教室	おもしろ算数教室	新聞を使った学習	押し花アート	エコ学習(エコライフゲーム)	おもしろ科学教室(1)人力発電	紙芝居 龍馬もにがたり	星のはなし 星空観察	マジックショー
5	1	1	3	2	1	1	1	3	8
その他									
マジックショー andマジック教室	生き物Oxクイズ								
1	1								

満足度 (出前講座報告書: アンケートより集計...回収率81.1%)

令和3年12月31日現在

~60%	61~70%	71~80%	81~90%	91~100%
0	3	3	25	55

令和3年12月31日現在

【個人講師(居住地別)の各市町村における講座実施回数】

開催地 講師 居住地	室戸市	安芸市	香南市	香美市	東洋町	奈半利町	田野町	安田町	北川村	馬路村	芸西村	南門市	土佐市	須崎市	本山市	大豊町	土佐町	大川村	いの町	仁淀川町	中土佐町	佐川町	越知町	橋原町	日高村	津野町	四万十町	宿毛市	土佐清水市	四万十市	大月町	三原村	黒潮町	高知市	計		
室戸市																																				0	
安芸市				1																																0	
香南市			1	3									1												1											4	
香美市		1	1									4	1	1						1							1								14		
東洋町																																				0	
奈半利町																																					0
田野町																																					0
安田町																																					0
北川村																																					0
馬路村																																					0
芸西村											1																										0
南門市			1	2						1	2	2																1									12
土佐市			1	2									1																								2
須崎市																																					0
本山市																																					0
大豊町																																					0
土佐町																																					0
大川村																																					0
いの町																																					0
仁淀川町																																					0
中土佐町																																					0
佐川町																																					0
越知町																																					0
橋原町																																					0
日高村																																					0
津野町																																					0
四万十町																												1									1
宿毛市																																					0
土佐清水市																																					0
四万十市																																					0
大月町																																					0
三原村																																					0
黒潮町																																					0
高知市		8	10	16	14	0	0	0	0	1	3	15	7	11	0	0	0	1	2	2	3	0	0	0	2	2	3	0	4	0	2	2	1	3	9	72	
計		0	10	16	14	0	0	0	0	1	3	15	7	11	0	0	0	1	2	2	3	0	0	0	2	2	3	0	4	0	2	2	1	3	9	106	

第2回 高知県地域学校協働活動推進委員会

高知県地域ぐるみ学校安全体制整備推進事業

資料



提供：高知県スクールガード・リーダー連絡協議会 元会長 山下正和 氏

学校安全対策課

目次

地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業の概要	1
高知県地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費補助金	2
令和3年度 スクールガード・リーダー名簿	3
地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業の報告	4
令和3年度 市町村担当者会 開催要項	6
(参考) 事業に係る取組等	7
(参考) 登下校防犯プランの概要	13

地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業

令和3年度予算額 338百万円
 (前年度予算額 338百万円)



学校、通学路の安全確保に向け、昨今の児童生徒の尊い命を奪う交通事故・事件の発生も踏まえ、スクールガード・リーダー増員による見守りの充実や、スクールガード等のボランティアの養成・資質向上を促進することにより、警察や保護者、PTA等との連携の下で見守り体制の一層の強化を図る。

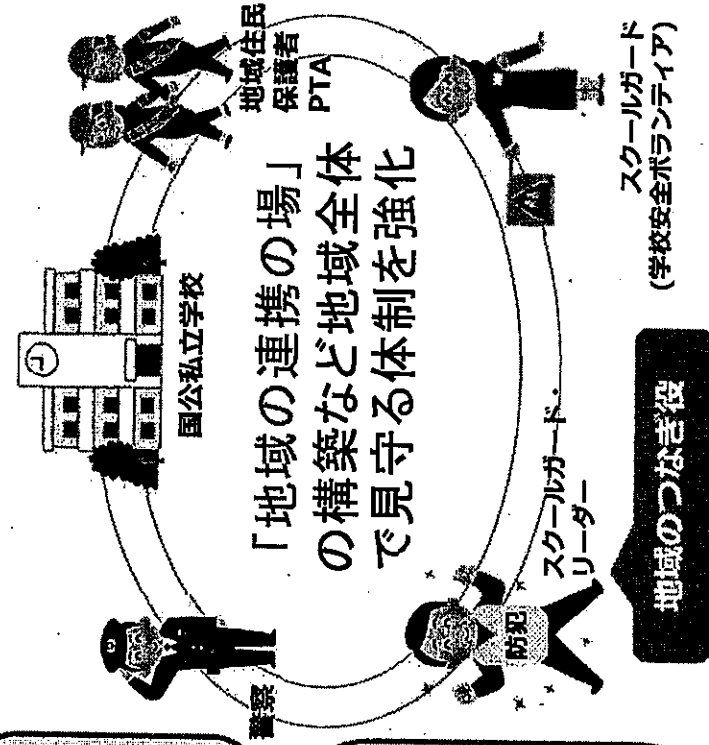
■実施主体：都道府県及び市町村 ■補助率：国庫補助率1/3、都道府県・市町村各1/3 ※市町村直接実施の場合2/3負担

スクールガード・リーダーの育成支援

○スクールガード・リーダーの資質を備えた人材（警察官OB・教職員OB・防犯協会役員等）に対する育成講習会の実施

スクールガード・リーダーに対する活動支援

○スクールガード・リーダーによる指導、見守り活動に対する謝金、各学校を定期的に巡回するための旅費等の補助
 ○学校等の巡回活動等を円滑にするためにスクールガード・リーダーの連絡会等の開催を支援、装備品の充実



スクールガード（ボランティア）の養成・資質向上

○通学路で子供たちを見守るスクールガードの防犯に対する知識、非常時の対応策等自身に付けさせるための養成講習会を実施
 ○活動の参考となる資料を配布することによる見守りの質の向上

スクールガード増員による見守りの強化及び活動に対する支援

○「登下校防犯プラン」等に基づき、登下校時のパトロールや地域の連携の場構築など防犯活動への支援
 ○子供の見守り活動に係る帽子や腕章などの消耗品費、ボランティア保険料の補助

スクールガード・リーダー育成講習会、スクールガード養成講習会の開催に係る経費を補助し、見守りの人材確保と質の向上

スクールガード・リーダーがスクールガードに対して、見守り活動・警備上のポイントや不審者対応等について指導・助言

地域ぐるみで子供の安全を守る体制構築

高知県地域ぐるみでの学校安全体制整備推進事業費補助金

補助率 国・県 市町村各1/3 申請先 高知県庁 市町村による直接実施の場合は 国1/3 市町村2/3

◎ 次の①～③の事業を単独実施でも複数実施でも可

事業名	事業内容	補助対象経費	経費に係る留意事項	R3年度の状況
スクールガード・リーダーによる巡回指導と評価等	<ul style="list-style-type: none"> 警察官OBや教職員OB、地域安全活動の中心として活動している者等をスクールガード・リーダーとして委嘱する。 スクールガード・リーダーは、各学校を定期的に巡回し、警備のポイント、改善すべき点などの指導と評価や、スクールガード(学校安全ボランティア)に対する指導を行う。 スクールガード・リーダーの配置人数、対象とする範囲については、各地域の実情に応じて決めることができることとするが、小学校5校に対して1名程度の割合を原則とする。 なお、巡回指導等の対象校については、幼稚園、保育所、中学校、特別支援学校等も対象とすることができる。 	報償費	<ul style="list-style-type: none"> 【スクールガード・リーダーの巡回指導経費】 ・報償費のみ。1日2時間以上の活動、5千円を上限とする。 ・スクールガード・リーダーの活動日数については、年間120日以内とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・21市町村で実施 ・スクールガード・リーダー39名に委嘱 ・室戸市、安芸市、東洋町、奈半利町、北川村、安田町、芸西村、香南市、南国市、大豊町、土佐市、須崎市、日高村、権原町、四万十市、四万十市、土佐清水市、宿毛市、黒潮町、三原村、大月町
スクールガード養成講習会	<ul style="list-style-type: none"> 学校や通学路で子どもたちを見守るスクールガードを養成するための講習会を開催する。 なお、開催に当たっては、多くの方々が参加することができるよう、開催場所、開催回数等に配慮するものとする。 	報償費(講師謝金)、旅費、使用料及び賃借料(会場賃上料)、着用品費、役務費(通信運搬費)	<ul style="list-style-type: none"> 【スクールガード養成講習会の開催経費】 ・スクールガード養成講習会の開催経費については、10万円を上限とする。 ただし、スクールガードに対する報償費、旅費は対象外とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安芸市 (新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催中止。)
学校安全活動	<ul style="list-style-type: none"> 学校安全のために、学校安全ボランティア等を活用しつつ、例えば、登下校時におけるパトロール、防犯・防災訓練の実施、地域安全マップの作成等、学校・家庭・地域が一体となり子どもたちの安全に関する取組を実施する。 	報償費(講師謝金)、旅費、使用料及び賃借料(会場賃上料)、着用品費、役務費(通信運搬費)	<ul style="list-style-type: none"> 【学校安全活動経費】 ・学校安全活動経費については、活動に直接必要な経費とし、1市町村につき30万円を上限とする。 ・スクールガード・リーダーの装備品(防刃ベスト等)やスクールガード・リーダーの連絡会等の開催に係る経費は、対象とする。 ただし、スクールガードに対する報償費及び旅費は、原則として対象外とする。 なお、消耗品費等については、学校やPTAが使用するものと明確に区別すること。 ・備品購入費は、対象外とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・芸西村、香南市 ・南国市、須崎市で実施

◎ スクールガード (学校安全ボランティア) 組織が未設置の学校は、特に、上記②③の事業を活用した取組の検討をお願いします。

《お問い合わせ先》 高知県教育委員会事務局 学校安全対策課 学校安全担当 TEL 088-821-4533

令和3年度 高知県地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業 スクールガード・リーダー名簿

No.	担当地域 (市町村等)	氏名	登録 年度	巡回等 学校数		拠点校(部署)	巡回担当予定校(圏)	教育委員会	
				25 小学校	中学校			担当部署	
1	室戸市	中野 金夫	H18	4	2	室戸市 教育研究所	佐喜浜小、室戸小、 佐喜浜中、室戸中	室戸市教育委員会 学校教育課	
2		栗尾 博義	H19	5	3				元小、吉良川小、羽根小、吉良川中、羽 根中
3	安芸市	清岡 豊	H30	4	2	安芸市 少年育成 センター	川北小、土居小 清水ヶ丘中、安芸中	安芸市 少年育成センター	
4		小松 孝臣	H25	3	3				下山小、伊尾木小 井ノ口小
5		吉田 博幸	H31	3	3				赤野小、穴内小 安芸第一小
6	東洋町	生田 幹明	H23	2	1	野根小学校	野根小 野根中	東洋町教育委員会	
7		光本 速雄	R2	2	1	甲浦小学校	甲浦小 甲浦中		
8	奈半利町	能勢 幸利	H22	1	1	奈半利町 教育委員会	奈半利小	奈半利町教育委員会	
9	北川村	牛窓 雅人	新	2	1	北川村 教育委員会	北川小 北川中	北川村教育委員会	
10	安田町	南 久雄	R2	2	1	安田町 教育委員会	安田小 安田中	安田町教育委員会	
11	芸西村	山下 茂正	新	4	1	芸西村 教育委員会	芸西小、芸西中、 芸西幼稚園、芸西保育所、	芸西村教育委員会	
12	香南市	野村 清	H21	5	3	香南市 教育委員会	佐古小、香我美小、夜須小、 夜須中、香我美中	香南市教育委員会 学校教育課	
13		内藤 雅廣	新	6	4				赤岡小、野市小、野市東小、 吉川小、赤岡中、野市中
14	南国市	比江森 信子	R2	5	5	南国市 教育委員会	岡豊小、久礼田小、国府小、 白木谷小、奈路小	南国市教育委員会 学校教育課	
15		谷口 省文	H24	4	4				後免野田小、長岡小、日兼小、 大妻小
16		田中 晋	H27	4	4				大塚小、三和小、相生小、 十市小
17	大豊町	小笠原 崇	H28	2	1	大豊町 教育委員会	おおとよ小 大豊町中	大豊町教育委員会 人づくり班	
18	土佐市	中川 守	H30	6	4	土佐市 少年育成 センター	土佐南中、新居小、高石小、高岡第一 小、高岡中、宇佐小	土佐市 少年育成センター	
19		矢野 泰幸	H30	6	5				高岡第二小、蓮池小、波介小、北原小、 戸波小、戸波中
20	須崎市	津野 正男	H18	7	4	多ノ郷小学校	南小、多ノ郷小、西桑小、浦ノ内小 南中、浦ノ内中、朝ヶ丘中	須崎市教育委員会 学校教育課	
21		谷脇 秀幸	新	6	4	須崎小学校	上分小、新狂小、安和小、須崎小 上分中、須崎中		
22	日高村	山下 忠一	H21	5	3	日高村 教育委員会 教育支援室	加茂小、日下小、能津小 日高中、加茂中	日高村教育委員会 教育支援室	
23	橘原町	今井 久光	R2	2	1	橘原学園	橘原小 橘原中	橘原町教育委員会 生涯学習課	
24	四万十町	樋口 寛	R2	4	4	四万十町 少年補導 センター	東又小、影野小、仁井田小、興津小	四万十町教育委員会 生涯学習課	
25		有馬 義行	H19	4	4				川口小、窪川小、七里小、米興小
26		田邊 幹男	H29	4	4				田野々小、昭和、十川小、 北ノ川小
27	四万十市	酒井 敏	R2	6	3	具岡小学校	具岡小、中筋小、東中筋小 中村西中、中筋中、東中筋中	四万十市教育委員会 学校教育課	
28		林 正秋	H30	6	4	中村南小学校	中村南小、竹島小、下田小、 八束小、下田中、八束中		
29		土居 佳伸	H20	2	1	西土佐小学校	西土佐小、西土佐中		
30		森下 眞道	H23	4	3	東山小学校	東山小、大用小、藤岡小、大用中		
31		武田 弘一	H27	4	2	中村小学校	中村小、利岡小 中村中、後川中		
32	土佐清水市	秋本 茂	R1	3	2	土佐清水市 少年補導 センター	清水小、足摺岬小 清水中	土佐清水市 少年補導センター	
33		安岡 孝利	R1	4	4				三崎小、榑陽小、下川口小、 下ノ加江小
34	宿毛市	嵐 健	H26	4	4	宿毛市 青少年育成 センター	宿毛小、橋上小、平田小、 山原小	宿毛市教育委員会 学校教育課	
35		小松 太	H23	4	4				宿毛小、大島小、成陽小、 小筑紫小
36	黒潮町	大石 正幸	H19	4	3	黒潮町 こどもサポートセンター	藤ノ川小、伊与喜小、佐賀小 佐賀中	黒潮町教育委員会 生涯学習課	
37		國友 積	H28	6	5				上川口小、南郷小、入野小、 三浦小、田ノ口小、大万中
38	三原村	榎 喜章	H30	2	1	三原村 教育委員会	三原小 三原中	三原村教育委員会 学校教育課	
39	大月町	吉岡 利昌	R1	2	1	大月小学校	大月小 大月中	大月町教育委員会	
2.1市町村		計 39人		163	110				

高知県地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業

学校安全対策課

事業目的

子供たちが安全で安心して教育を受けられるよう、学校や通学路における子供の安全を確保するため、学校、家庭及び地域の関係機関・団体が連携を図り、地域社会全体で学校安全に取り組む体制を整備する。

事業内容

- (1) スクールガード・リーダーによる学校の巡回指導等の実施
- (2) スクールガード養成講習会の開催
- (3) 学校安全活動の実施

令和3年度の実績 (R4.1.11 現在)

- 高知県地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業 市町村担当者会の開催
 - ・日時：令和3年5月13日(木) オーテピア高知図書館 4階 ホール
 - ・目的：地域全体で学校の安全に取り組む体制を整備するため、スクールガード・リーダーの活動内容等について、事業の趣旨の共有及び情報交換を行い、活動の充実を図る。
 - 「スクールガード・リーダーの活動内容リーフレット(学校安全対策課作成)」を各リーダーに送付
 - 「登下校見守り活動ハンドブック(文部科学省)」を各市町村に配付
 - 学期末毎に、事業実施市町村から提出される「スクールガード・リーダー活動報告書(写し)」からリーダーの活動内容を把握、必要に応じて市町村に聞き取り
- ※年度末に、事業実施各市町村から「実績報告書」の提出があり、実績及び成果と課題を確認する予定



これまでの成果と課題(市町村実績報告書より)

【成果】

〔スクールガード・リーダーによる巡回指導と評価等〕

- ・学校と地教委とスクールガード・リーダー(School Guard Leader 以下「SGL」)が連携しながら児童生徒の見守り活動を行うことができた。SGLから登下校中の児童生徒の様子や見守り時の注意点等を情報提供してもらうことで学校での安全指導に活かすことができた。
- ・通学路等の巡回指導や学校の交通安全教室等への参加などにより、SGLの存在が学校や地域に浸透してきて、子ども・学校・地域の信頼関係を築くことができています。SGLと子どもがお互いに声をかけやすい関係ができることで、SGLの存在そのものが通学する子どもたちに安心感

を与え、安心・安全のための地域づくりにつながっている。

- ・ SGLの必要性が学校や地域で認識され、地域による見守り活動が充実するとともに、通学路の危険箇所や不審者の情報提供に一定の効果が表れている。不審者情報については、警察へ共有し、迅速に対応してもらうことで、不審者が特定された案件もあった。

〔学校安全活動〕

- ・ 各小学校区で児童の見守り、声掛け、挨拶運動、学校行事への協力など、地域の実情に即した幅広い活動を実施することで、地域の見守り活動として定着しつつある。

【課題】

〔スクールガード・リーダーによる巡回指導と評価等〕

- ・ 緊急時（不審者情報等）にSGLに急遽活動してもらうための連絡体制を整備する必要がある。
また、SGL不在時の日常の児童生徒の安全確保の方策等の検討が必要である。
- ・ SGLの人材が不足している。

〔学校安全活動〕

- ・ 地域に根差した活動を継続するために、新規見守りボランティア会員募集や、会員同士の情報交換や各小中学校と連携した活動内容の充実が課題である。各小中学校区の状況について聞き取り等で把握し、会員と各小中学校が連携した活動につなげていくような体制づくりが必要である。

〔全般〕

- ・ 本事業を活用しているのは、全35市町村（学校組合）のうち21市町村となっている。
児童生徒の確保の強化と本事業の活用について、各市町村に働きかける必要がある。

取組状況調査より

- ・ スクールガード等の見守り実施状況（PTAの見守り活動を含む）は、平成26年度以降は小学校において100%となっている。今後は、見守り活動が組織的に行われるよう取り組む必要がある。

今後に向けて

- ・ 「登下校防犯プラン」に基づき、児童生徒の安全確保のための環境づくりが急務である。本事業を活用し、SGLの活動に加えて講習会開催におけるスクールガード（学校安全ボランティア）の養成や見守り活動の有用性を改めて周知し、実施市町村が増えるよう働きかけること、また、スクールガードの養成に向けて市町村を支援することが必要である。
- ・ SGLや市町村担当者に見守りの視点をより深く理解していただき、日々の取組に活かせるよう、市町村担当者会やSGL連絡協議会の研修内容を充実させていく。

令和3年度 高知県地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業市町村担当者会 開催要項

1 趣 旨

地域全体で学校の安全に取り組む体制を整備するため、スクールガード・リーダーの活動内容や見守り活動の充実に向けて、事業の趣旨の共有及び情報交換を行い、取組の充実を図る。

2 主 催 高知県教育委員会

3 日 時 令和3年5月13日(木) 13:30~15:30

4 会 場 オーテピア高知図書館 4階 ホール
(高知市追手筋2-1-1 TEL:088-823-4946)
※会場地図は別紙に記載

5 参加対象 令和3年度高知県地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業
市町村教育委員会事業担当者

6 日程及び内容

〈日程〉

13:30	13:40	14:00	14:30	14:40	14:50	15:25	15:30
開会	説明 (県教委から)	講話 (県警から)	情報提供 (南国市ほか)	休憩	情報交換・協議	閉会	
	(20分)	(30分)	(10分)	(10分)	(35分)		

〈内容〉

- ①説 明 「高知県地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業の趣旨について」
「スクールガード・リーダーの活動や見守り活動の充実に向けて」
高知県教育委員会事務局 学校安全対策課
- ②講 話 「不審者情報の状況と見守りのポイント」
高知県警察本部 生活安全部 少年女性安全対策課
- ③情報提供 「わんわんパトロールの取組について」
南国市
- ④情報交換 グループに分かれて、情報交換・協議
・見守り活動の充実に向けて
・地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業における成果と課題
・各関係機関との連携 等

令和3年度 地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業に係る取組

市町村	名称	目的・内容等	人数
南国市	「わんわんパトロール 運動参加」	<p>【目的】児童を犯罪から守ることを目的として、地域住民（飼い主の皆さん）に運動参加への協力を呼びかける。 運動に参加をしていただいた地域住民は、児童の登下校の間帯に合わせて、愛犬の散歩を行いながら見守り活動を行う。「ながら防犯」の活動を通して、犯罪抑止を図るとともに地域ぐるみでの防犯運動の高揚を図る。</p> <p>【活動内容】児童の登下校時に合わせて、愛犬にはバンダナをつけて散歩を行っていただきながら、児童の登下校時の見守り活動を行う。</p>	南国市内で14家庭18匹が活動 (令和3年度新規登録は、 6家庭6匹)
土佐市	運池パトロール隊	<p>【令和3年度学校安全表彰 文部科学大臣表彰 学校安全ボランティア活動奨励賞】</p> <p>平成23年の結成以来、長年にわたり、児童の登下校の見守り活動を継続的に行っており、現在33名のボランティアの方が、日々の登下校の見守り活動を実施している。児童の見守り活動だけでなく、通学路の安全面において課題となる点は粘り強く要望し改善に尽力し、信号機のない横断歩道を渡る際に、手を挙げることで、停止したドライバーに挨拶することを学校に提案するなど、児童の行動化を促す啓発等も積極的に行っている。こうした取組は、児童の通学時の安全はもとより、安全・安心な学校環境づくり、ひいては運池小学校児童の健全育成にも貢献していることから、今後も継続的な活動が十分期待される。</p>	33名のボランティアの方

散歩も児童見守るワン

南国市 8人11匹巡回中



子どもたちと一緒に登校しながらパトロールする「たま子」
(南国市緑ヶ丘2丁目)

「子どもたちの笑顔やりがい」

昨年12月半ばの早朝。ユールデンレトリバーのたま子(3歳雌)が十市小近くを散歩していた。たまちゃん、おはよう。登校中の児童に声を掛けられると、しっぽをふりふり「ワンワン」。

「わんわん警察だ、何か面白い心。集まってきた原重を学校まで運送する。散歩の事例を参考にする。10

不審者対策として、市教委はこれまで、民家などに避難できる駆け込み寺制度などを展開。さらに、地域の力を借りた「ながら防

年1月に「パトロール」をスタートさせた。

希望者は学校を通じて申請し、市教委が隊員を委嘱する。専用の赤いバンダナと飼い主が持つロゴ入り袋が目印。登録期間は設けず、登下校時に合わせて散歩をすることが任務だ。

特別に何かをするわけではないものの、姿を見ると、見守ってくれていると安心する。「犬を介してコミュニケーション力がついたようだ」と保護者にも好評。大徳、十市、日章の各小学校区で8人11匹が活動している。

たま子の飼い主の泉節さん(60)は緑ヶ丘2丁目。は、知人の獣医師の勧めがきっかけ。コギー(9歳雄)、フラットコートレトリバー(2歳雌)を含む3匹を登録し、日替わりで登場させている。

元々、犬と一緒に県内各地の福祉施設を訪れるボランティア活動をしていた泉さん。やりがいは、子どもたちの笑顔と話す。

同市教委は「地域ぐるみの目があるだけで、犯罪抑止力になる。みんなで無理なく、子どもたちを守る意識が高まれば、引き続き、

隊員と隊犬を募集してい

る。

(横田幸成)

R3. 1. 10

高知新聞

愛犬家の皆さんへ

～ 子どもたちを犯罪から守ろう～

わんわんパトロール運動 に ご協力ください

登下校時の子どもたちの安心・安全を守るために、南国市教育委員会では、学校保護者・地域住民と協力しながら、地域ぐるみの地域安全ボランティア活動を推進してまいります！！

わんわんパトロールとは？

愛犬家の皆さんのご協力を得て、子どもたちの登下校時（登校：7時30分～8時10分、下校：15時30分～16時30分ごろ）に合わせて、犬の散歩コースを通学路などにして、地域みんなで「見守りの目」を広げるものです。

昨今、全国的にみると、子どもの下校時間帯において、犯罪被害が多く発生している傾向があります。

地域の温かい見守りの目を増やし、子どもたちの安心・安全を守っていきましょう。ぜひ、ご協力をお願いします！！

協力者には南国市教育委員会から委嘱状と名札及びバックを、愛犬にはバンダナを配付いたします。



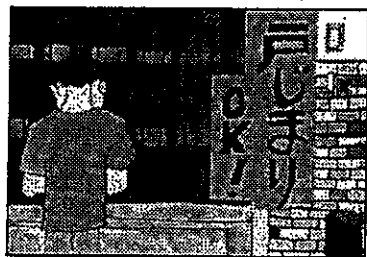
【問い合わせ先】

南国市教育委員会学校教育課

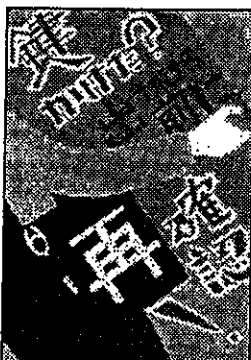
(088) 880-6568

「令和3年度安全安心まちづくりポスター」の最優秀作品等が決定

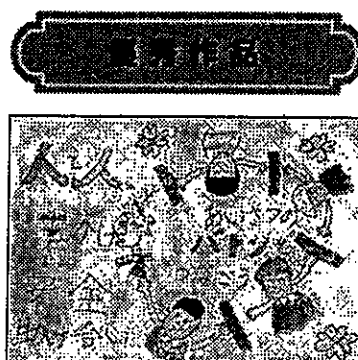
最優秀作品



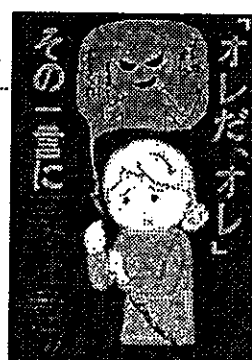
小学生の部



中高生の部



小学生の部



中高生の部

高知県安全安心まちづくり推進会議では、県民の皆さまの防犯に関する意識や安全安心まちづくりの気運を高めるために掲示する広報啓発用のポスターを、毎年、県内の小学校、中学校、高等学校の児童や生徒の皆さんから募集しています。

今年の募集には、362点ものご応募をいただき、令和3年11月26日（金）に選考会を実施した結果、12点の作品が入選（最優秀・優秀・佳作）されました。

最優秀と優秀に選出された作品は、今後ポスターやポケットティッシュの挿絵として安全安心まちづくりの啓発に活用させていただきます。



「蓮池パトロール隊」令和3年度 学校安全ボランティア活動奨励賞 受賞



見守り活動の様子



「蓮池パトロール隊」の皆さん

土佐市の「蓮池パトロール隊」が、令和3年度「学校安全ボランティア活動奨励賞（文部科学大臣表彰）」を受賞されました。

「蓮池パトロール隊」は、平成27年度には「高知県安全安心まちづくり功労団体表彰」を受賞するなど、安全・安心な学校環境づくりに大きく貢献しています。

現在、33名のボランティアの方々活動されており、揃いのジャンパーやベスト、帽子等を着用し、大きな黄色い旗を掲げて活動する姿は、登下校中の児童にもよく見えます。交通安全上留意すべき要所で安全な通行を見守りながら声掛けし、「見せる安全活動」として児童の安全と健やかな成長を見守っています。

蓮池パトロール隊の懸命な見守り活動は、児童に大きな安心感を与え、児童の安全はもとより地域全体の安全・安心にもつながっています。

地域の方々の目で子どもたちを守ってくださっていることは、大変ありがたいことです。

温かい目があってこそ、子どもたちが安心して元気に過ごすことができます。ありがとうございます。

（土佐市立蓮池小学校 吉門直子校長先生）

くらしネットkochi編集・発行者
高知県文化生活スポーツ部 県民生活課

安全安心まちづくりニュース編集・発行者
高知県安全安心まちづくり推進会議

お問い合わせ先
高知県文化生活スポーツ部 県民生活課
〒780-8570 高知市丸ノ内1丁目2番20号
TEL 088-823-9653(くらしネットkochi) FAX 088-823-9879
088-823-9319(安全安心まちづくり)
E-mail:141601@ken.pref.kochi.lg.jp

下校時子どもを見守り

高知市の小高坂小 住民が家まで一緒に

下校時子どもを見守り 丁目の小高坂小学校で、ろう。高知市新屋敷1 地域住民が下校時に児童



下校中の子どもたちを見守りながら一緒に歩く地域住民(高知市新屋敷1丁目)

と一緒に自宅付近まで帰り、子どもの安全を守る活動を行っている。地域住民は「私たちの大事な地域の子ども。下校時してみんなで見守りたい」としている。

同校では毎朝、地域の人々が校門前や学校近くの交差点に立ち、あいさつや交通安全指導をしながら子どもを見守っている。一方で下校時間帯は子どもたちが少人数でバラバラと帰る上、人通りも少なく、見守りが手薄な状態だった。

昨年、学校の近隣で不審者情報が相次いだことなどから、同校の中田正康校長が地域に相談。低学年の児童を自宅や自宅

付近まで送り届けようということになり、今年6月から月1回のペースで活動を行っている。

9月初旬には、おそろいの蛍光のベストを着た住民約30人が参加。学校から出てきた児童に「どっちに帰る?」と声を掛け、「夏休みどんなことした?」「いつも一人で帰るゆう?」と会話を交わしながらそれぞれの自宅まで一緒に歩いて帰った。

小高坂地区各種団体連絡協議会の原田浩平会長(70)は「子どもと会話をしながら歩いて、私たちの楽しみにもなっています」とにっこり。中田校長は「登校時だけでなく下校時も子どもを守ってくれて非常にありがたい」と話していた。

(石丸静香)

しっかりした小1女兒

谷口 省文 74 スクールガードリーダー(南国市稲生)

年末年始の交通安全運動にかかわらず、私たちスクールガードリーダー(21年前、大阪・池田小学校で起きた児童殺傷事件後全国で発足、県内では39人が活動中)は、いつも帽子とベスト姿で旗を手に、小学生の登下校時間帯に、通学路で交通誘導や事件、事故、災害等からの見守り活動を行っている。

交通誘導での私の方針は「人の安全優先」で、車両を通過させた後、児童の横断をさせている。

先日、南国市の後免野田小学校西側歩道へ1人の小1女兒が来た。歩道手前で旗を横にして歩を止めた。南北進行車両を確認すると

年未年始の交通安全運動 停止してくれたので、旗を真上にして女兒と一緒に歩幅で横断した。

直後、女兒が私に「ありがと」と言いつて頭を下げ、続けて車両に向かって頭を下げた。その動作に私もつられてごく自然に「ありがと」の気持ちになり、ドライバリーに向かって頭を下げていた。

女兒が示した態度と停止して横断を見守ってくれたドライバリーに胸が熱くなった。わずか30秒ほどの出来事。ドライバリーの皆さま、横断歩道で児童、歩行者を確認したら、ゆとりある見守り運転、よろしく願います。

ボランティアで思う事

前田和夫 77

(香美市土佐山田町東本町)

災害時の活動には、頭が下がります。ボランティアの活動は行政や地域、人々にとつてたいへん大きな力、助けとなり明るく住みよいまちづくりの役に立っていると思います。

今の社会は支え合い、人を大切にすることに欠けているとの声を聞きます。しかし、真のボランティア精神「うごか」自分がしちやったに當んだ活動をしている人が「常に謙虚である事」と先達もたくさんおられます。

災害時の活動には、頭が下がります。ボランティアの活動は行政や地域、人々にとつてたいへん大きな力、助けとなり明るく住みよいまちづくりの役に立っていると思います。

今の社会は支え合い、人を大切にすることに欠けているとの声を聞きます。しかし、真のボランティア精神「うごか」自分がしちやったに當んだ活動をしている人が「常に謙虚である事」と先達もたくさんおられます。

「常に謙虚である事」と先達もたくさんおられます。

「常に謙虚である事」と先達もたくさんおられます。

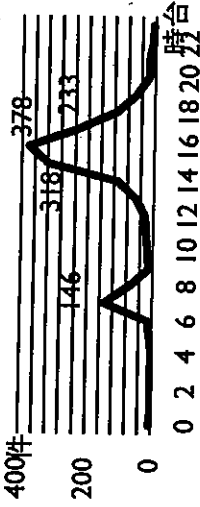
声ひろば

登下校防犯プランの概要

登下校時における子供の安全の課題

- (1) 子供の被害は登下校、特に下校時(15～18時)に集中
犯罪件数が減少する中、ほぼ横ばいで推移
- (2) ①既存の防犯ボランティアの高齢化、②共働き家庭の増加
→「地域の目」が減少、「見守りの空白地帯」が生じている
➡登下校時における総合的な防犯対策の強化が急務

子供(13歳未満)が被害者となる身体犯の発生状況
(土日除く。道路上での事案に限る)(H27～29年累計)

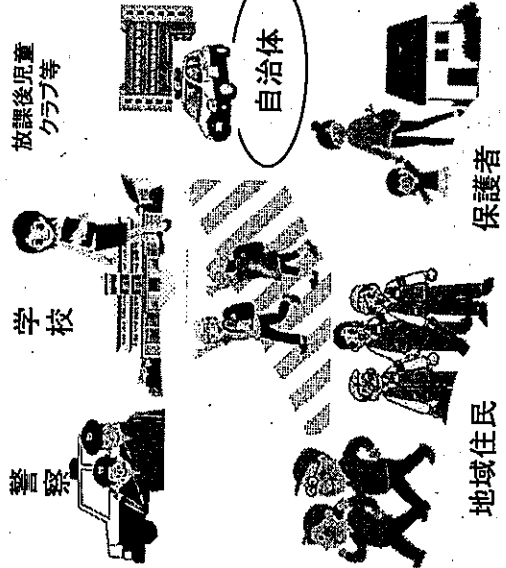


2 通学路の合同点検の徹底及び環境の整備・改善

- (1) 通学路の防犯の観点による緊急合同点検の実施、危険箇所に関する情報共有
- (2) 危険箇所の重点的な警戒・見守り
- (3) 防犯カメラの設置に関する支援、防犯まちづくりの推進

1. 地域における連携の強化

- (1) 登下校時における防犯対策に関する「地域の連携の場」の構築
- (2) 政府の「登下校防犯ポータルサイト」による取組の支援



4. 多様な担い手による見守りの活性化

- (1) 多様な世代や事業者が日常活動の機会に気軽に実施できる「ながら見守り」等の推進
- (2) スクールガードの養成、防犯ボランティア団体の活動等の支援
- (3) 「子供110番の家・車」への支援等

3. 不審者情報等の共有及び迅速な対応

- (1) 警察・教育委員会・学校間の情報共有
- (2) 地域住民等による効果的な見守りや迅速な対応に資する情報の提供・発信
- (3) 放課後児童クラブ・放課後子供教室等の安全対策の推進

5. 子供の危険回避に関する対策の促進

- (1) 防犯教育の充実
- (2) 集団登下校、ICタグ、スクールバス等を活用した登下校の安全確保の推進